

2026 年 1 月発売

金村 修『写真批評』

月刊誌『家電批評』での人気連載が単行本化

2016 年から 2025 年にかけて月刊誌『家電批評』に連載された「金村修の写真批評」から厳選したテキストに、新たに加筆・修正して編まれた写文集。芸術論・写真論を軸に、音楽と写真、時評、カメラをめぐる話題までを横断し、写真家を志す人へ向けた思考と言葉を凝縮した一冊。約 100 点の写真作品を収録し、全 360 ページに及ぶ大ボリュームの、金村修初となる本格的な写真批評集。

写真は「表現」や「創造」の敵です。だって機械が撮ったのですよ。そこに「表現」や「創造」の要素が入り込む余地はありません。「創造」という言葉もいやですね。わたし達は創造主という神じゃない。どちらかといえば神はカメラで、写真家はその下僕です。そして写真はまた想像力の敵でもあります。写ったものしか見ることができないのですから、そこに想像の力を発揮する余地もありません。よく写真を見ているんことを想像して語る人がいますが、もっと画面をよく見ろと言いたいですね。お前のつまらない想像なんてどうでもいい。重要なのは画面に写っているものだと声を大にして言いたいです。ただそうすると写真を語る言葉というのは、犬が写っているとか、ビルが写っているとかそんな退屈なトートロジーでしかなくなるのですが、そういう退屈さもまた写真の面白いところです。

(金村 修『写真批評』あとがきより)

定価：3,600 円＋税  
A5 判（148 × 210mm）、並製、ソフトカバー  
360 頁（モノクロ）  
ISBN：978-4-910646-06-0 C0072



かねむら・おさむ 1964 年、東京都生まれ。写真家。20 代半ばまでミュージシャンを志す。1989 年、東京総合写真専門学校に入学。タブロイド紙配達のアパートをしながら、都市の写真を撮り始める。1992 年、東京総合写真専門学校在学中にオランダ・ロッテルダム写真ビエンナーレに招聘され、1996 年、MoMA による「世界の注目される 6 人の写真家」のひとりに選出される。1997 年、東川町国際写真フェスティバル新人作家賞、日本写真協会新人賞受賞。2000 年、史上 2 番目の若さで、土門拳賞を受賞。2014 年に伊奈信男賞、2025 年に写真の会賞を受賞。主な写真集に『Spider's Strategy』『Concrete Octopus』ほか、著書に『漸進快楽写真家』『挑発する写真史』（タカザワケンジとの共著）などがある。

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922 mail: info@tsubamebook.com  
TEL: 03-6715-6121 https://tsubamebook.com

貴店印（番線印）	新刊 PCT info@photoandculture-tokyo.com 返品条件付き注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人	
	注文数	『写真批評』 金村 修
ご担当： 様	ISBN978-4-910646-06-0 C0072 定価：3,600 円＋税	